蒙を啓く

学校だより12月号　2022.12.22

福 井 市 啓 蒙 小 学 校

福井市開発1-1008　TEL：54-2819　FAX：54-9769　E-mail：keimo-e@fukui-city.ed.jp

学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

早いもので令和４年もあとわずかとなりました。年の初めには、「今年こそ〇〇をがんばるぞ～！」と目標を立ててがんばってきたと思います。中にはできなかったこともあると思いますが、まずはがんばってきた自分をほめてあげましょう。そして、気持ちを切り替え新しい年を迎えましょう。

さて、２４日からは冬休み。１月１０日から再開する学校にスムーズに登校できるよう、生活リズムをくずさずに、安全に、健康に過ごしてくれることを期待しています。また、子供たちには、家族の一員として、一緒の時間をゆっくりと過ごすと共に、掃除や片付けの仕事を積極的に引き受けてほしいです。保護者の皆様・地域の皆様、子供たちをどうぞよろしくお願いします。

１　「広い海にでてみよう　～さかなクンのメッセージ～」　全校朝礼：12月　2日（金）

昨年の人権週間では、「ぞうさん」の歌を紹介しました。ぞうさんの歌詞には大切な意味が込められていましたね。「おはなが長いのね」「かあさんも長いのよ」「かあさんが好きなのよ」ぞうさんはほかの動物に「君は鼻が長い」、「見た目が違う」と言われても、胸を張って自分の個性を受け入れています。ぞうさんの歌詞を作った まど・みちお さんの「人とちがうところはいいところなんだよ。ちがっているところを大切にしよう。」というメッセージが込めらた歌でした。

さて、今年の人権週間は12月2日～12月20日です。自分も友達も一人一人が違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを大切にする期間としてほしいです。そこで、今年はさかなクンのメッセージ「いじめられている君へ　広い海にでてみよう」を紹介します。

中１のとき、吹奏楽部で一緒だった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩（せんぱい）が３年になったとたん、無視されたこともありました。突然のことで、わけはわかりませんでした。

でも、さかなの世界と似ていました。たとえばメジナは海の中で仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽（すいそう）に一緒に入れたら、１匹を仲間はずれにして攻撃（こうげき）し始めたのです。けがしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽に入れました。すると残ったメジナは別の１匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても新たないじめっ子があらわれます。

広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」ときけませんでした。でも仲間はずれにされた子と、よくさかなつりに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話をきいてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいるだけで安心できたのかもしれません。

ぼくは変わりものですが、大自然のなか、さかなに夢中になっていたらいやなことも忘れます。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたりしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのにもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。

みなさんはこのメッセージからどんなことを考え、思いましたか。担任の先生やクラスのお友達と考えを話し合ってみてください。その後、みなさんの感想を用紙に書いてください。校長先生はみなさんの感想を読むことを楽しみに待っています。

2 「さかなクンのメッセージから思うこと……」：○数字は学年

①ともだちをたいせつにします。さかなクンがつらいときには、そばにともだちがいてほしいな。

①１ぴきはなすとまたちがうさかながいじめられることをまなべました。じぶんもみんなとちがうところがあり、そのことをいうと「はやくなおるといいね」っていわれました。一人一人ちがうところがあるので、これからもやさしくしようとおもいました。

②「友だちを大切にすること」「自分も大切にすること」「友だちが自分とちがうからって、いじめはだめだし、広い心をもって生活すること」、この三つを大切に生きていこうと思いました。

②いじめられていた子に、よりそっていきたいと思います。それと自分がいじめられていたら、がんばって広いせかいに飛び出していきたいと思いました。

③あらためて人けんとは大事なんだな、と思いました。わたしは学校でいやなことがあったとき、メジナみたいなせまい世界にいるからじゃないかと考えたいです。そして、広い世界にでかけ、いろんな人と出会ってみたいなと思いました。

③いじめがある小さな世界じゃなくて、いじめがない広い世界に行きたいなぁと思いました。友だちとちがうところがあっても、そのちがうところに自信をもって、すごしたいと思いました。しょうがいがあるから、なかまはずれにするとかはぜったいしないぞとぼくはきめました。

④自分と他人のちがいを見つけて、その人のよさを知っていきたいと思いました。自分とちがうだけでいじめたり、なかまはずれにしたりすると相手がきずついたりするので、よさを知っていれば、そのよさでなかよくなれたりするので、外見で見るのではなく、人を見ていきたいです。

④人とちがうことはいいことなんだなと、あらためてじかくしました。人とちがうことはだめなことなんだとそう思ったことがありました。しかし、この話を聞いてそれはいいことなんだと分かりました。一人一人の個性は、相手に合わせるのではなく、自分のよさをのばせば、一人一人のとくいなことをいかせるのではないかと思いました。

④いじめている子といっしょになっていじめをしないさかなクンが、とても心強いと思いました。それと、わたしもいじめはしないと心の中で思いました。いじめられている子をわたしは助けたいと思います。

⑤さかなクンの話は参考になると思いました。さかなに例えていて分かりやすいからです。人権を考えるのは１２月２日～２０日ですが、この期間が過ぎても考えていきたいです。ぼくがいじめられても広い世界にいけばいいのかな～と思いました。ためになりました。

⑤広い世界に出るために、これから色々なことにチャレンジしようと思いました。自分に自信がないと自分の殻から出られないし、逃げ込む場所はあっても誰も頼れないからです。色々なことにチャレンジすることで、自分の得意なことを見つけられ、自信がつき、色々な人と「つながる」ことができると思います。「つながる」相手が友達かもしれないし、知らない人かもしれないけど、どんな人であっても大事にしたいです。

⑥広い海での魚みたいに、みんなと協力して色々なことを乗りこえて、みんなちがうからこそ、乗りこえられることをしっかり頭の中に入れておきたいと思いました。今は魚で例えると、水そうの中みたいな小さな世界だけど、大人になると海みたいな大きな世界に出るので、いつも同じ人たちだけでがんばるのではなく、色々な人とがんばっていきたいと思いました。

⑥人権週間の大切さを知りました。例えを「ぞうさん」の歌で、「人それぞれ違う所はいいところ」など、自信がない人に自信をあげるようなお話で、改めて人権のことについて学びました。特に印象に残ったものは、「広い海にでてみよう」です。これは小さなきっかけで（無視・いじめ・はぶられる）などのせまい世界から、広い空の下・広い海に出てみようという、人に勇気を与えてくれるようなお話でした。これからは、人に思いやりをもって行動したいと思います。

人権週間中には、各クラスで大切にしたいことを「わたしたちの人権宣言」として発表しました。

☆ひまわり・たんぽぽ組の人権宣言を紹介します。

人のきずつくことを
しない
言わない
そして、いじめない